



発行所 富山県魚津市役所 編集発行人 高瀬善一郎 (毎月1日発行) (定価1部三円) 魚津市荒町 小浜印刷所

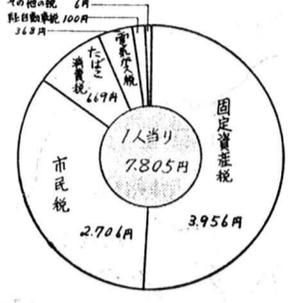
人口のうごき table with columns for sex and age group, showing birth, death, and marriage statistics.

市の財政状況

このほど昭和41年1月から6月までの財政状況が公表されました。これは、市の財政がどうなっているか、市民のみならず、

一般会計

40年度決算 当初予算は八億四千六百七十七万円でしたが、五回にわたる補正により、最終予算額は十億三千四百四十四万一千円となりました。

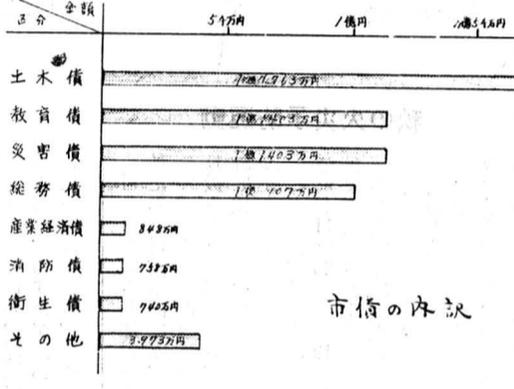


市民の税負担

修、高架橋建設のための県負担金として、三千二百一十一万円が支出されました。

41年度予算

一般会計における市民の負担状況は、予算総額十億三千四百四十四万円に対し、市民一人あたり二万五千九百九十九円と見込まれます。



40年度の一一般会計のうち、投資的業務に使ったお金は三億六千九百五十一万円にのぼっています。

40年度収支状況

Table of 40th fiscal year income and expenditure by category, including taxes, salaries, and other expenses.

Table of 40th fiscal year income and expenditure by district, showing detailed breakdown for various areas.

特別会計

水道事業 昭和三十九年3月末現在、給水人口二万三千四百九十九人で、水道普及率は四九・八%になりました。

40年度特別会計収支状況 table showing income and expenditure for special accounts like water supply and health insurance.

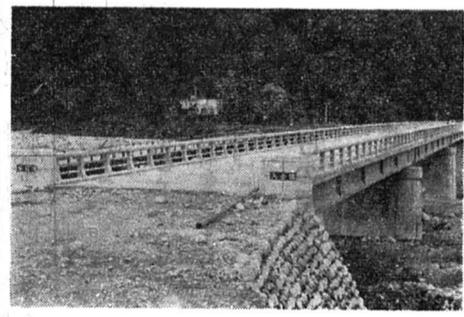
Table showing the breakdown of special account income and expenditure by district.

国民健康保険税

納期は11月30日です 12月は固定資産税第三期分の納期です。

入会橋

りつばな永久橋に 本市の鉢地区と滑川市大浦地区の早月川にかかっている入会橋は老朽がひどく、県では昭和38年から永久橋にかけ替える工事をすすめてまいりましたが、近く完成することになりました。



鉢地区にも簡易水道

鉢地区は、市街地より十二キロも離れた海抜二百五十メートルの山間地で、三十戸足らずの小さな部落ですが、あまり良い飲料水に恵まれていなかったため、いつまでも安心して飲める水道の設置がのぞまれていました。

お知らせ

種痘 対象者は、来年小学校に入学される昭和35年4月2日から36年4月1日までに生まれた方と、小学校六年生です。

Table of vaccination dates and locations for various districts.

住民検診

住民検診も今月で終わりますので、まだ検診を受けていない方は、ぜひ受けてください。

乳児検診

該当者は昭和40年4月1日から41年8月31日までの出生者です。

インフルエンザ予防接種

対象者は、生後六か月以上の市民全員ですが、熱のある人、鶏肉や卵でジンマンになる体質の人、糖尿病、脚気患者、六か月までの妊婦、病後衰弱者は受けられません。

整備される林道網

森林面積が全市のおよそ七割を有している本市では、農山村住民の所得の向上をはかって、地域産業を振興させるために、林道網を整備し、積極的な森林資源の開発がきわめてたいせつなこととなっています。

従来、林道は、林産物の搬出だけが、その目的であるように考えられてきましたが、最近では、一般の産業交通道路として、また、観光道路としても、重要な地位を占めるようになってきました。

そのうえ、木材の需要もいじりしく伸びてきており、また、輸送機関の発達などにより、輸送事情が大きく変わってきています。

市としても、この状況に対応するために、林道網の整備をすすめる事業に下表のような路線があります。

まず、坪野古鹿熊線は、今年度から着工されましたが、坪野池原、古鹿熊の山間部に至る延長十三キロのもので、これが完成すれば、やく九百七十ヘクタールにおよぶ山林の資源開発が期待されています。

また、三年前から工事にとりかかっている別又線は、片貝川の支流、別又川に僧ヶ岳方面へ延長八キロの林道を開設するもので完成すれば、受益面積は千五百五十ヘクタールと推定されています。

このほか、小川寺から日尾、御影に通ずる延長四キロの小川寺線、黒谷橋から谷川に延長四キロの黒谷一号线、前東城部落から山腹をぬって延長三キロの前東城一号线があります。

この林道の開設に、40年度までやく五千万円、今年度三千二百万円が投資されています。

なお、これとは別に県単事業ですすめている天神山、神島、日尾地内の林道三路線があります。

農免道路

鳥尻から大菅沼を経て坪野を結ぶやく五・三キロ、幅員五メートルの農免道路は、総工費五千万円で今年度から三か年計画で着工することになりました。

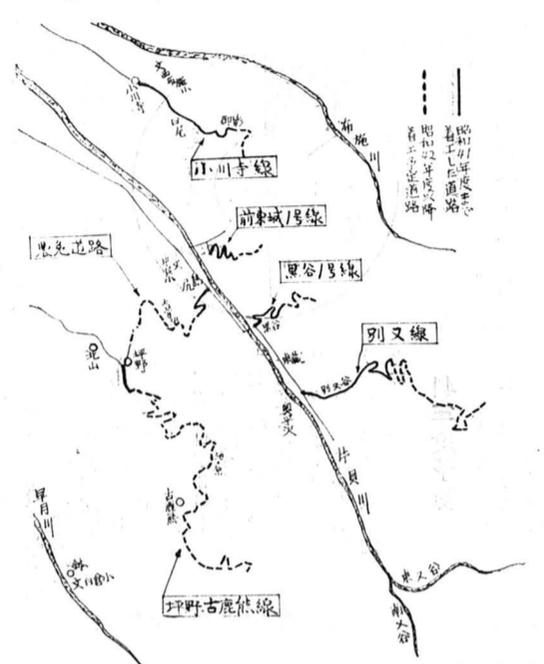
その起工式が、10月20日鳥尻地内で行なわれ、さっそく工事にと

りかかり、今年度は鳥尻側から延長二千メートルを、来年三月までに完成させることになっていきます。

おもな林道の整備計画

路線名	全体計画	41年度計画	
		延長	工事費
別又線	8,200	820	700
坪野古鹿熊線	13,000	1,500	1,000
小川寺線	4,000	1,000	500
黒谷1号線	4,000	520	500
前東城1号線	3,000	848	500

幅員は 3.6~4メートル



健康体力づくりを

このたびは本市が、総理府から「健康体力づくりモデル市」に指定されました。

これは、健康の増進と体力の増強について市民のみならずの自覚を高め、積極的な運動をすすめることとされています。

市では、推進委員会を設けて検討した結果、次のような五つの事業を柱に、この運動を強力に盛りあげることになりました。

- ▽市民体操の普及指導
- ▽歩こう運動に全員参加
- ▽体力テストの実施
- ▽環境衛生づくり
- ▽健康食の普及奨励
- ▽食品の栄養と衛生講演会
- ▽胃の集団検診

この運動は、いままです推進してきたものを中心として実施されることになりましたが、健康な体力づくりのため、市民のみならずの協力を願います。

市民のみならずの健康な生活を営むために役立てていただくこと、11月6日(日)午後1時30分から図書館で講演会が開催されます。

講師は、日本食品衛生協会野村祝次さんです。

胃の集団検診

希望者は早めに申し込みを

▽場所 魚津保健所

▽検診内容 予診、問診およびX線による胃の造影撮影

▽造影剤は造影剤(バリウム)を用い、立位正面、立位第一斜位、腹臥位、背臥位の順で行ないます。

▽申し込み 検診希望者は、11月10日まで受診申込書を保険衛生課へ提出してください。

▽申し込み順により三百名まで検診することになっていきます。

▽費用 一人四百円

秋の火災予防運動

一日と寒さも加わって私たちの日常生活にも、こたつ、ストーブなど火を取り扱うことが多くなり、これに比例して火災も急激にふえてきます。

このため、秋の火災予防運動が11月26日から12月2日まで実施されます。

各ご家庭では、火の元に消防設備の点検整備、避難訓練を実施することになっています。

また、午前7時と午後9時の二回サイレンを吹鳴します。

農業祭 15、16日に

農林産物品評会などひらく

農林産物の増産と品質の向上をはかり、農家の生産意欲を高めることを目的に第三回農業祭が行なわれます。

△農林産物品評会

▽日時 11月15日午前9時から午後5時まで

▽場所 市民会館

▽出品物 審査品、即売品、参考品、宣伝参考資料の四部にわかれ、種類は、雑穀類、野菜類、果実類、その他農林産物加工品となっています。

なお、農村青少年クラブでは、市民会館前で、果実、野菜、苗木の即売会を行ないます。

△農林業功労者表彰

▽日時 11月16日午前10時から図書館で午後4時まで

▽場所 市民会館

▽出品物 審査品、即売品、参考品、宣伝参考資料の四部にわかれ、種類は、雑穀類、野菜類、果実類、その他農林産物加工品となっています。

寄生虫の検査を受けましょう

国民健康保険事業の一つとして、昨年の寄生虫検査を行なうことになりました。

昨年の寄生虫検査では、一万二千三百三十三人が検査を受け、百三十六人の有卵者が発見されました。保有率の多かった地区は、上中島五・四%、片貝四%、松倉二・九%、西布施二・四%の順となっています。

恐ろしい寄生虫から私たちの体を守るために、一人残らず検査を受けましょう。

対象者は保育所園児、小、中学校生徒を除く市民全員で、検査料は無料です。

検査の方法は、配布された容器の中に、ふん便を入れ、容器を入れた袋に町内名、氏名、世帯主名を書いて、回収日に町内の指定場所へ午前9時ごろまでに出していただきます。

加積小が一位に

交通安全協会などの主催で、小生の自転車乗りの正しい乗り方競技大会が、10月19日村小小学校で、七小学校が参加して行なわれました。その結果、団体では、加積小が一位、二位本江小、三位村小となり、個人では加積小六年石崎昌義君が優勝しました。

なお、加積小チームは県大会で二位となり、県代表として中部ブロック大会に出場しました。

写真 村小で行なわれた競技会

納税者の声を聞く

みなさんのなかで、税についての法律や規則がむづかしいとお困りの方、あるいは税金を悩みのタネと考えておられる方はありませんか。

税務署では、このような方のために、11月10日から19日までの十日間を、とくに「納税者の声を聞く旬間」と定め、納税者のみなさんから、いろいろな苦情や意見、要望などを少しでも多くお聞きし、みなさんの悩みをなくするとともに、

年賀はがきの発売

11日から

昭和42年の新年用お年玉つき年賀はがきは11月11日(金)から全国いっせいに売り出されます。

寄付金のついたものは八円、寄付金のないものは七円となっていますが、お買いもののないよう早目にお求めください。

(魚津郵便局)

寄付

- 二万円 上村 脇坂 ぶさ
- (亡夫良範のご遺志による)
- 二万円 新屋屋町 沢田茂次郎
- (亡妻かすみのご遺志による)
- 一万円 本江 戸島 憲次
- (亡母よし殿のご遺志による)
- 一万円 橋本 杉原 悦子
- (亡父米治のご遺志による)
- 一万円 下新町 浜多 清
- (亡父清忠のご遺志による)
- 五千円 釈迦堂 美浪 与吉
- (亡父三松殿のご遺志による)
- 一千円 北中 山田あきみ
- 寄付 山田あきみ
- 一万円 新屋屋町 沢田茂次郎
- 身体障害者協会へ寄付

申告所得税第二期分の納期限は、11月30日です

- 3日 羽田医院 ②0642
- 6日 辨崎医院 ②0399
- 13日 宮元医院 ②0139
- 20日 石倉医院 ②0321
- 23日 熊西医院 ②0166
- 27日 越野医院 ②0840

郵政省では簡易保険創業五十周年を記念して、10月1日から配当金の増額、高齢者の保険料払い込み免除などを実施し、よりいっそう加入者サービスの向上をはかりました。

昨年度は、千三百億円の保険金の支払いを支払っています。このように簡易保険の配当金は、案外知られていないようです。

こんど配当金の増額によって、例えは、昭和22年に加入した三十年満期養老保険では、月額保険料の三十七か月分の配当金がつくことになりました。これは、二十六年五か月分になります。三十年間の掛け金の払い込みは、結果的に三年七か月ですむことになります。

簡易保険は、国が経営し、営利を目的としない生命保険です。からどなたも安心して加入できます。